



# つ、じヶ丘だより東京

## つ、じヶ丘同窓会東京支部会報



発行 函館西高等学校つ、じヶ丘同窓会東京支部 会長 折田 信一  
 〒136-0071 東京都江東区亀戸 9-10-1-1517 TEL・FAX 03-3638-3523  
 メールアドレス <tutujigaoka2022@googlegroups.com>  
 印刷 三美印刷株式会社 題字 細見 紀子(14回生)



←ホームページ URL ; <https://www.td-tokyo.com>

「レッツゴー同期会」の  
 活用で旧交を温めましょう

会長 折田 信一 (18回生)



新型コロナウイルス感染症によって、私たちの生活は想像しなかった変化に直面してきました。

外出時のマスク着用が当たり前になり、不要不急の外出の自粛、飲食店の営業時間の短縮、観光地からは人影がすっかり消えてしまいました。長引くコロナ禍によって日常生活のみならず、事業に支障をきたしたり、罹患したり、さまざまな影響を受けている会員の皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、1日も早い事態の収束をお祈りしています。いまだ出口が見通せない状況にあつて、本年5月7日開催予定の総会・懇親会は、昨年に続いて延期を決定させていただきました。また、次回開催については、今後のコロナ感染者数の推移や社会情勢などを勘案しながら、開催日時を決定次第、速やかにご案内申し上げます。どうぞご理解を賜りますようお願いいたします。

例年、同窓会活動の一環として行なってきた本部・他支部との交流、

東京臥牛会連絡会及び在京他校同窓会との交流会も、2020年からすべて中止になっております。当会唯一の最高議決機関である学年幹事会は、今年も対面での開催が叶わず、議決資料等を郵送してご承認いただく書面会議とさせていただきます。事務局会議についても昨年は2回

のみの開催でした。会報の発行、総会開催の是非、事業計画、役員改選等、最低限の案件処理に留まりましたことをお許しください。

そうした中で、特に皆様にご報告したいのは、ホームページのリニューアルです。東京支部のホームページは10年前に新設され、記事の追加や情報の更新などの運営業務は外部に委託してまいりました。しかし、少子化と高齢化によって、年々、会員数が減少しており、それはそのまま同窓会活動を支える年会費納入額の減少にもつながっています。そこで、経費削減に加えて、将来を見据えたITによる情報発信の充実も視野に入れ、無料ホームページ作成ソフトジンドー (Jindo) を利用することにしました。ジンドーは、ドイツで誕生した世界的に人気のあるホームページソフトです。すでに、今年2月からジンドーに移行しましたので、URLまたはQRコード(上段に掲載)でご確認ください。今後はホームページの一層の充実、更新のスピードアップなどに取り組んでまいります。さらには、今年度限りのハッピー企画として『レッツゴー同期会』を

実施します。延期となった総会・懇親会に代わって、同期会の開催を提案し、出席人数に応じて増額補助金(左記参照)を呈呈します。申し込みは、東京支部ホームページから申請書をダウンロードしてお手続きください。開催報告書に写真を添え、ホームページに投稿することが申請条件となっています。

今年になって3回目ワクチン接種の実施、経口薬の承認、新治療法の開発など明るいニュースも飛び込んできています。笑顔で皆様にお会いできる日が近いことを念じつつ、今後とも同窓生の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 『Let's go 同期会』実施のお知らせ

総会・懇親会の延期に代わって、『Let's Go(レッツゴー)同期会』を実施します。従来、同期会(7名以上)を開催した場合、1万円の補助金を差上げていますが、今年度に限り(12月末まで)下記の通り補助金を増額します。他同期生との合同開催も可、1回生1回限り。この機会にぜひご活用ください。

★5名以上…2万円 ★10名以上…3万円 ★15名以上…5万円

※申し込みは東京支部ホームページから補助金申請書をダウンロードして記載、同期会の写真を添えて事務局メールまたは郵送でご送付ください。

# ◆特別寄稿 函館だより

コロナで帰郷できないとの嘆きを聞く。函館在住の三六会(11回生)の守村禎太郎、新城光正、恩田昭二の3氏の函館点描をお楽しみください。

## 棒二森屋閉店、跡地再開発計画

棒二森屋百貨店(通称ボーニさん)は、「金森屋百貨店/文久3(1866)年創業」と「棒二萩野呉服店/明治15(1882)年創業」をルーツとして昭和11(1936)年の合併で開業。平成31(2019)年1月、82年の歴史に幕を下ろした。その跡地には、函館駅に向き合う旧アネックス館は24階建てシテイホテル(245室)に、市電通りに面する旧本館の北側には4階建て商業施設(1~2階は薬品・土産販売店、3~4階は公共施設)、南側には25階建てマンション(125戸)を建てる計画だという。ビルとしては函館市最高の高さ85mのランドマーク



▲創業当時の棒二森屋。



▲守村禎太郎さん



▲新城光正さん



▲恩田昭二さん

となる見通しだ。

完成時期は当初の想定から1年遅れて令和9(2027)年3月。事業費約190億円は、資材高騰もあって大幅増加の見込みで試算中とのこと。そのため、建物の解体工事も今年12月以降に着手予定で、遅れる可能性もあるという。コロナ禍の折、事態好転は見込めそうもなく、景気の落ち込みが気がかりだ。

ここ数年、函館駅大門周辺には大きなホテルが一挙に立ち並んだが、街に人流は少なく明かりは消えかけ不況感が続く。界隈の老舗店「渡辺時計店(since1921)」「日硝堂」「くすりのカメイ」「美鈴珈琲店」「鳳蘭」「滋養軒」「鮎金」「とんき」「津軽屋食堂」「辯慶力餅」「久保田写真館」「三上参省堂薬局」「赤帽子屋(創業1886年)」など、懐かしいお馴染みの店や居酒屋が軒を連ねているが、かつて賑わった大門ネオン街の面影を探すのは難しい……。巴港棧橋には、昭和63(1988)年3月13日に青函航路最終運航を終えた摩周丸が「函館市青函連絡船記念館」として係留、保存、公開されている。その隣接岸壁に大型クルーズ船が着岸可能な若松埠頭が新設されたが、往時の人出活況の目論見も

叶わず……朝市同様閉古鳥が鳴き、先行き波高し……。

函館市の人口は昭和55(1980)年の34万5165人をピークに激減、危機感、焦燥感募るばかりで、縮む街並みを危惧しつつ愛郷心を奮い立たせている昨今である。

※2022年2月末現在の函館市の人口は、総数24万7,278人、男性11万2,452人、女性13万4,826人。

## 坂の街はここで・思い出の姿見坂

「姿見坂」(函館市弥生町、斜度急坂 長さ約500m)は坂の街函館にとっては極ありふれた坂で、賑やかな人の動きがある庶民の坂である。昔は連絡船や港を出入りする船が行き交う「姿」を見ながら、坂下右側の西浜岸壁に建つ薄黒い「東洋製缶工場」も視野に入れながら、坂道を上り下りした思い出がある。

この坂下電車通りの両角は共に酒屋で、右角がモッキリ酒屋「千代盛」(故石塚茂氏宅、同期5組)、左角が酒問屋和田商店で、会社帰りに立ち寄る人も多かった。

坂道に向かって進むと左側に函館で最も古い銭湯大黒湯(大正10年創

業、今は廃業)。戦前は海軍の軍艦が入港すると、塩っぽい体を流そうと200名余りが一斉に訪れ、女風呂も男風呂として使用していたそう。さらに進むと大黒通りで、今は集合住宅が建てられているが、戦前は「大黒座」(演芸場)があり、いろいろないイベントが行なわれるワクワク・ドキドキ冒険心を煽る楽しい場所だった。



1965年代(昭和40年)の姿見坂 右建物は高松チキンの本社

この大黒通りでは毎月3日と8日に「夜店」が開かれ、日没後、夕飯を終えた家族が散歩がてら坂上から降りて来て、子供達は握りしめた小銭で買った飴せんべい、御焼き、入り豆、ドンきびなどを頬張ったものだ。坂を上ると、旧鍛冶町で左角にあったのが、その昔、見番(芸者の三味線の手習い)があった建物で二階が二十畳の広さだった(ここに移転したのが同期1組の倉橋宅)。さらに旧旅籠町を過ぎて船見町へ上ると、坂に向かって左側にオイルショックでドックが手放した社宅(5棟25世



船も僅かな巴港、製缶工場の消えた西浜岸壁…。函館山から吹き降ろす風を肌身感じながら、過ぎ去った日々の連絡船のドラの音、霧笛、冬の坂道でのそり遊びなど、幼い頃の記憶が脳裏に蘇ってくる……。

函館山とロープウェイ

山頂からの美しい眺めが人々を魅了する函館山。戦前は要塞として入山禁止の「恐山」だったが、戦後の昭和28年、函館市交通局が定期登山

帯？賃料月3000円)があつた。弥生小・愛宕中・西高卒の作家・森真沙子さんは、ここで育ち、この坂にふさわしい庶民の作家として文壇で活躍する頼もしい同期生である。

今、姿見坂の上に行き交う、バス運行を開始。昭和33年には函館観光事業会社が函館山ロープウェイを開業した。当時の料金は片道大人80円、子供50円でゴンドラ定員31人。搭乗時間は5分半だった。現在は5代目が運行し、定員125人、山麓駅から頂上展望台まで約3分。神戸摩耶山、長崎稲佐山と共に日本三大夜景と称される一大パノラマ。「壹百萬ドル」の夜景は、今も不変不動の存在感を發揮する。しかし、20年度の観光客数は前年度比42%減の310万2800人。市内宿泊外国人も激減(前年度は46万8869人)、世界的なコロナ禍によるインバウンド(訪日外国人)入国停止などの影響だ。毎年11月に開催される「市民感謝デー」のロープウェイ無料搭乗や頂上レストラン100円フード(カレールイス、焼きそば他)には長い行列ができるが、昨年は中止を余儀なくされた。コロナ時代でも往来自由を念じたい。



▲西高2年生の頃か？ 函館山山頂からのスキー滑走。学生帽をかぶっているのが懐かしい。昭和34年撮影

函館市はこの建物を売却することに決め、最低売買価格を2320万円に設定。事業者には2年以内に改修工事に着手すること、4年以内に使用開始すること、20年間の転売禁止などの条件を付けた。しかし、売却して果たして貴重な財産を保存できるのか。市民団体から売却に対する疑問の声があがり、文化財指定を求めて署名活動を展開していたが、昨年、市は愛知県名古屋市の自動車部品メーカー「ソブリン」に売却することを決めた(売却額三千万円)。計画ではホテルや販売スペースなどを備えた総合施設として25年の

旧ロシア領事館が高級ホテルに



▲旧ロシア領事館

函館市の西端「幸坂」を昇りつめた場所にある「旧ロシア領事館」は、安政5(1858)年、箱館大工町(現元町)に開設された。明治5(1872)年に一端閉鎖されたが、明治39(1906)年に現在地の船見町に再び設置される。建物は1908年に再建され、ロシア革命後はソビエト連邦の領事館となり、その後外務省管理となり、1964年に函館市が購入し「函館市立道南青年の家」となったが1996年に廃止された。

オープンを目指すという。さらに、札幌出身の作家・谷村志穂さんがこの改修整備の監修を務めるそうだ。「ソブリン」の村瀬社長は北大水産学部の卒業生で学生時代を函館で過ごしており、谷村さんは北大農学部卒業の同窓生だったのが縁で同社顧問を務めている。谷村さんを通じて領事館の存在を知った村瀬社長が、2019年夏頃から活用に向けて動いていたという。

市民団体「旧ロシア領事館を考える会」では、ロシア領事館にまつわる写真や絵画を市民から提供してもらい展示会を開催した。その際、最も目を引いたのが旧領事館の建つ幸坂から函館港を望む風景を描いた20号の油彩画「幸坂から」だ。赤い壁と白い窓枠の旧領事館や今は消失したドックのゴライアスクレーン、ブルーの海が鮮やかに描かれている。この絵は、西高13回生の奥村浩之さんの作品で、在学中は美術部に所属していたそうだ。奥村さんは2006年に開校100周年を迎えた西高記念誌「この坂から」の編集委員長も努めている。2010年に享年66歳で亡くなったのが残念だ。



▲奥村浩之画「幸坂から」

高記念誌「この坂から」の編集委員長も努めている。2010年に享年66歳で亡くなったのが残念だ。

## 同窓生の広場

幕末維新のデッドゾーンを  
生きた人々——『春告げ鳥』  
(柳橋ものがたり7)をめぐる

作家 森真沙子 (11回生)

「徳川時代の最後の日々を、人々はどのように生きていたのだろうか」。そんな単純な興味から書き始めたこのシリーズも、7巻め。江戸から明治への「境い目」を個性的に渡った人を、歴史上の人物と虚構の人物を交えて書き綴り、いよいよ維新前夜のデッドゾーンです。

『幕末百話』などによれば、そこらの市井の人々も、いつ命を落とすかわからぬ危険な時代だったそう。でも遠くの銃声を聞いて、「ありゃア何だね」と言うようなのどかな人も、結構いたようです。

特に劇的に境い目を渡った人として、第3話に出て来る歌舞伎役者「澤村田之助」を上げたい。かれは当代一の人気女形だったが、脱疽に冒され、慶応3年秋にヘボン先生の執刀で右足を切断。アメリカから取り寄せた義足をつけ、日本で初めて義足をつけた人物として、このゾーンを渡ります。その芝居は、「義足芝居」と言われ熱狂を呼んだそうで、



二見書房時代小説文庫 700円 (税別) ●購入はオンライン書店またはブックサービスで。☎0120-29-9625

今のパラリンピック等に見る高度なありようからは想像もできません。

第5話の、雛祭りの日に元老中小笠原長行(おがさわら・ながみち)の身に起こった奇怪な事件も、歴史上の事実。桜満開の夜の大川を、篠屋の船頭の舟で漕っていく描写はフィクションですが、現実はずっと怖かった? この時代にこんな雅味のあるハムレットの末裔みたい人がいたことに、滅びゆく武家社会の懐の深さを感じます。幕末で最も好きな武将の一人です。

小出大和守は箱館奉行として、一時期、箱館の八幡坂に近い奉行所にいたこともある幕臣。その人物を第1話に挙げたのは、慶応4年1月、最後から2番目の「北町奉行」として幕末史に登場するから。あるミッションを命じられ、わずか1ヶ月でし終えて、奉行を辞任する。その翌明治2年、デッドゾーンを渡りきる手前で、不慮の死を遂げ、歴史からその名を消してしまふのです。たぶん北町奉行としては一つも事件を手がけなかっただろうけど、一つだけ解いたという設定です。

『春告げ鳥』とは、春の到来を告げるように囀るウグイスのこと。メジロなども入ります。維新のデッドゾーンを激烈に果敢に渡った人たちは、皆、時代を先取りする『春告げ鳥』だっただろう、というように思っています。

ボランテアガイドは  
一期一会

上平 明 (18回生)

西高卒業後、海上保安官となり、以来41年間で北は稚内から南は宮崎まで18回の転勤生活を送った。転勤者の多くは、新しい土地へ行くとその地に馴染もうと、歴史や風土、観光地等を学ぶ努力をする。私もそのように努めたが、一方で地元民は全国的に有名な観光地や歴史的建造物があっても、いつでも行けるとい

気持ちがあるのか、その価値に気づかないのか、意外なほど地元を知らない人が多い。かくいう私自身も退職後、函館へ戻って故郷について全くと言っていいほど知らないことに愕然とした。そこで一念発起、函館を知るために、函館を紹介するボランテアガイドグループに入って勉強することにした。

最初に入会したのが外国人旅行者を案内する「函館善意通訳会」(HGGGA)で、函館を訪れる外国人の案内やサポートをする会だ。英語、中国語、韓国語を話す会員がいたが、私を含めて英語が多数派。入会当時のHGGGA会長は全国通訳案内士の先駆けとして大活躍する市根井恵子さん(13回生)だった。入会後は毎月実施される研修に参加し、観光地を英語で案内できるように勉強を始めたが、語学力以前に函館に関する知識が欠落していることを再認識。そこで、主に日本人相手に観光案内ボランテアを行なっている「縁ジョイ倶楽部」に入会。ガイドの要領やマナー、箱館と函館について学んだ。同会では毎年4月、10月



▲ベトナム系アメリカ人のご夫妻と上平明さん。JR 函館駅前。

まで毎週土曜日に五稜郭公園を訪れる観光客の無料案内を行なっている。メンバーは、一の橋、付近に待機し、「無料で公園を案内します」と訪問者に声をかけ、「箱館奉行所」までの約30分、五稜郭にまつわる話などをしながら公園を巡る。活動の主な舞台は五稜郭公園だが、要望に応じて西部地区や函館公

園なども案内する。

この2つのグループの活動を通して、私も8年前から本格的にボランティアガイドを開始。函館を訪れる内外の人々を案内しているが、その中で特に印象に残っている夫妻を紹介したい。平成29(2017)年9月、クルーズ船で来函したベトナム系アメリカ人夫妻とJR函館駅前で待ち合わせた。事前にメールのやり取りで観光先や予定を全て決めておき、そのスケジュールに沿って行動する。しかし、前日に会員仲間の真

## 狂伝 佐藤泰志

—無垢と修羅

近年、再評価が続く18回生の作家・佐藤泰志の評伝が4月19日に刊行された。発売を待ち望んでいた同窓生も多いだろう。10年もの歳月と情熱を賭して本作を上梓した中澤雄大氏に著書を紹介してもらった。

ノンフィクション作家 中澤雄大

『さみの鳥はうたえる』『海安市叙景』『草の響き』……芥川賞に5回、三島由紀夫賞、野間文芸新人賞に各1回ノミネートされながらも受賞を果たせずに、1990(平成2)年10月、失意のうちに41歳で自死した佐藤泰志の本格評伝となります。

全作品の背景分析に加えて、函館西高時代から晩年までの膨大な手紙

船栄子さん(21回生)から伝統文化体験イベントがあると聞き、興味があればと予定変更を提案してみた。イベントというのは西高茶道部が毎年旧公会堂の前庭で行なっている「野点」である。秋晴れの中、重要文化財に指定されている明治西洋建築の旧公会堂を背に、函館市街を一望できる庭園で、夫妻はお茶とお菓子を楽しんだ。お茶はお代わりするほど気に入った様子だった。その後は定番の八幡坂、ハリストス正教会、元町カトリック教会、東本願寺など

類を読み解き、作家の胸の内から裸々に明かされます。その肉声から聞こえるのは、愛憎半ばする函館への想いであり、担ぎ屋として懸命に働いた両親との相剋であり、終生葛藤した自身の「血脈」でもあります。「高校生作家」として脚光を浴びて「すぐに作家になれると思っていた」青年が中央文壇の厚い壁に阻まれて、精神的に苦しんでゆく……。

狂おしいほどに文学に情熱を傾けながらも斃れて、忘れ去られた作家がなぜ現代に蘇り、令和の時代においても読み継がれて、新たな読者を獲得してゆくのか。当時の文壇状況のみならず、世相を踏まえながら、泰志の抱えた「無垢と修羅」に迫るため、10年以上の歳月をかけて調査研究を続けました。

幾つか内容を挙げれば、函館の街の成り立ちから戦前・戦後の活況、北海道文学の隆盛と「北方文芸」、海峡を渡る意味、「立待」など同人

を案内した。

夫妻はベトナム戦争末期に心ならずも祖国を脱出した戦争難民だった。ご主人は父親が南ベトナム軍人だったので米軍の飛行機で脱出。奥様は母親とともにボートピープルとなつて漂流。母親は途中で亡くなり、彼女は運よく貨物船に救助されて米国へ。二人は米国で知り合つて結婚。米国では言葉に尽くせないほど過酷な日々が続いたが、ご主人はビジネスで成功し、今ではテキサスで寝室が5つもある大きな家で暮らしてい

誌時代、政治の季節(ベトナム反戦、70年安保、三里塚闘争)、過ぎゆく青春の幻影、「諸悪の根源は芥川賞」、妹の死、憔悴する肉体と精神、三島賞選考の内実、「海安市叙景」連載中断の背景、自殺の真相……生きることの全てが小説に結びついていた私小説作家が「奇跡の復活」に至つた事象に向き合い、渾身の力を込めて書き下ろした1500枚です。

遺族はもとより、幼なじみから大

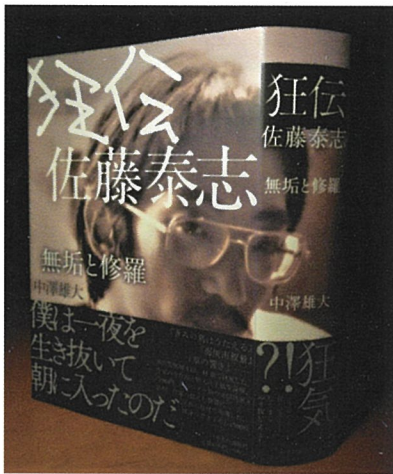
るといふ。豪華クルーズ船で旅行を楽しんでいる夫妻からは想像できない壮絶な体験に驚いた。人間万事塞翁が馬である。夫妻からぜひ家まで遊びに来てくれとの誘いを受けしたが、未だ果たせずにいる。

現在、コロナ禍によつて、両グループの活動は限られたものになっているが、早くコロナが収束し、また以前のように多くのクルーズ船が入港し、国内外からやってくる観光客のためにガイド活動ができることを日々願っている。

学同期生、恩師、隣人まで、あらゆる関係者にインタビューし、多くの資料と格闘。作家の実像を浮かび上げらせるとともに、ちまたに流布する誤つた情報を正すことにも注力しました。さらには函館西高OBの辻仁成をはじめ、泰志に多大な影響を与えた大江健三郎、半藤一利ら芥川賞選考関係者、直木賞作家の藤堂志津子ら多数の著名人に取材を重ねると同時に、当時の『新潮』『文藝』『文学界』『すばる』『作家』

など各誌編集者らにも長時間話を聞きました。

作家をよく知る函館西高出身の方々にも大変お世話になりました。この機会を通じてお礼を申し上げます。作家の息遣いが聞こえる本作をぜひ手にしていただき、佐藤泰志作品が末永く読み継がれることを祈っています。



中央公論新社刊、608頁、3800円(税別) ●購入はオンライン書店またはブックサービス ☎0120-29-9625(フリーダイヤル)

# 本部・支部通信

つ、じヶ丘同窓会は、函館本部、札幌・東京・関西支部の4つの組織で運営されています。コロナ禍で交流活動ができなくなり、各同窓会の状況をレポートしてもらいました。

## ★つ、じヶ丘同窓会函館本部

会長 渡辺 俊二(18回生)



令和2年、前会長の能登谷公氏(享年71才)が急逝されました。能登谷氏はその前年に会長職を引き継いだ

ばかりで、8期32年の市議会議員生活を終え、今後はつ、じヶ丘同窓会のために尽力したいと張り切っていた矢先で、我々同期や関係者にとっては大きな衝撃でした。毎年の同窓会では「校歌・応援歌」斉唱時のエールで場を盛り上げるのが恒例で、あのエールをもう見ることができな

頃からの付き合いです。我々18回生は昭和24年生まれの「団塊の世代」。ベビーブームのど真ん中で育ち、小中高と教室の中はいつも机と椅子で埋められ窮屈な状態でした。当時、西高の生徒数は1クラス平均50〜55名、全校生徒数は約1800名の大所帯で、昨今とは隔世の感です。現在、函館市の人口は25万人を切っています。人口減少は全国的な傾向とはいえ、特に西部地区は高齢化と少子化が進み、小中学校の数も減少し、観光スポットとしては人気があるものの寂しい限りです。

令和元年には函館陵北高校との統合が実現し、西部地区に校舎と名前が残ることになり、我々卒業生にとっては大変喜ばしいニュースでした。統合によって3学年各6クラス全校生徒数700名を超える市内で最も大きな高校になりました。これを機に新たな「西高」の歴史が始まり、西部地区のシンボルとして卒業生はもとより市民の誇りとして継承していけるよう祈っています。

コロナ禍によって生徒の皆さんは入学式、卒業式をはじめ様々な行事が中止、縮小され、楽しいはずの高校生活で我慢を強いられ、不自由な思いをしていると思います。とはいえ、世界中の誰もが初めて遭遇した「コロナ感染症」の経験を、これからの時代に生かして活躍してもらえたらと期待しています。

## ★つ、じヶ丘同窓会札幌支部

札幌支部長 竹林 進(17回生)



札幌支部は、昭和41年に同窓会の設立準備会を発足し、その年の6月に高女・西高を中心に第1回「つ、

同窓会活動も停滞を余儀なくされていますが、今後の状況を見ながらじっくり進めていくつもりです。統

合に伴う今後の同窓会活動は、歴史や規模、地域性などの問題もあり、陵北高、西高とそれぞれの道を歩むことになりました。新生同窓会としてではなく、今まで通りのつ、じヶ丘同窓会として継続していきます。コロナ禍で同窓会の開催が2年続けて中止となっていますが、高齢化の影響もあり、年々、出席者が減少しています。特に30代〜50代の卒業生の出席が少なくなっています。東京支部の皆様も卒業生に知り合いがい



◀ JR札幌駅

▼ 北海道新幹線



の延伸ルートが、2030年(令和12年)度末の完全開業を目指して道南、道央を中心に関連工事が本格化しています。

目下、札幌駅の北口付近は新幹線工事のため部分的に仮囲いが設置され工事中です。さらに、今年からは新幹線高架橋・駅舎工事などが本格的に始まります。

JR T T 鉄道・運輸機構では、札幌までの延伸工事の完成により東京(札幌間は、約4時間半(時速350km走行)〜5時間の運行を目指しています。さらに新幹線を見込んだ札幌駅周辺の再開発事業も大規模に計画され、将来に向けて街の活性化が期待されています。

「いがいがい」と坂道を巡る行商の声が響く船見町で初めての朝、それまで烏賊は白いものだと思っていたのに、そうではないということを知ったのが十六歳の春でした。父の転勤で函館に来たのですが、それまでは雪深い層雲峡の麓、上川で中学卒業までを過ごしたのです。

それから毎朝この声を聴くと買いに行かされ、「酢漬けのカレイもあつたから買って来た」と言う母は「何だ、干しカレイじゃない?」。「すをしたカレイ」と言ったから



★ 関西つつじヶ丘同窓会  
会長 中谷 基 (20回生)

「すをしたカレイ」と言ったから

「すをしたカレイ」と言ったから

**お知らせ**

東京都写真美術館で開催中  
『写真発祥地の原風景 幕末明治のはこだて』

函館は日本の写真発祥地のひとつで、幕末にロシア人から写真技術を習得した写真家たちが箱館の人々や街文化を撮影し活躍した。本展では、当時の写真と多くの資料から幕末明治の激動の地「はこだて(箱館・函館)」の姿を知ることができる。

期日/2022年5月8日(日)迄

場所/東京 都写真美術館 3階展示室(恵比寿ガーデンプレイス内)

開館時間/10時〜18時 (水・金は20時迄)

休館日/毎週月曜日 (5/2日は開館)

観覧料/一般700円、65歳以上350円

TOP MUSEUM

なわれた関西つつじヶ丘同窓会に初めて参加し、大勢の先輩にお会いしてそれまで心のどこかにあった孤独感がこれだったのか、と不思議に安堵した覚えがあります。両親はずでに亡く、同郷の知人がいない孤独感がいつきに解消された思いでした。それから大阪、神戸、京都と場所を



関西支部の総会は、京都、大阪、神戸の三都市を順番に開催。2019年11月、新大阪ワシントンプラザで。

変えての総会・懇親会、そしてカラオケの二次会などに、できるだけ参加して楽しく過ごさせてもらってききました。

しかし、頼り切っていた諸先輩方が高齢になり、私が会長を任されたもののコロナ禍で何一つ活動が出来ずに2年が経過しています。前会長の頑張りもあって会報を発刊できたのが唯一の救いです。

高等女学校時代からの歴史ある高校の同窓会ですが、往年のお姉さま方は年々参加できなくなり、若い方の参加も少なく危機感を持っています。かつて私が感じたような孤独感を抱えている卒業生もいるはずで、今年は何とか若い世代に声をかけられるよう、ようやく手にした同窓会名簿を頼りに疫病退散を願いながら思いを巡らせております。

事務局活動報告

事務局長 安原秀樹 (18回生)

(報告期間) 2021年8月

2022年3月

◎本部・他支部及び在京他高校同窓会との交流

・東京臥牛会連絡会及び他校同窓会(中部、ラサール、東、函商、函工)はコロナ禍で中止に。  
・10月開催予定だった本部同窓会はコロナ禍で中止に。

◎会議等

学年幹事会

・12月24日～1月20日  
第19総会・懇親会の開催及びレッツゴー同期会についてのアンケート調査を行なう。

事務局会議

・2月5日～3月7日  
オミクロン株による感染拡大により、2021年事業報告及びアンケート調査結果に基づく2022年事業計画、予算計画、役員改選等について書面会議を実施した。

・9月1日(水)

会報25号の会費納入者への発送業務と会報26号の編集・発行の打ち合わせ。コロナ禍収束の見通しが立たないことから2022年5月の第19回総会開催の是非を審議。

・11月27日(土)

総会開催及びレッツゴー同期会についてのアンケート調査の実施を決定。経費節減のために現行ホームページから無料ホーム

[2021年度 つ、じヶ丘同窓会東京支部 会計報告]

2021年 1月 1日  
至 2021年 12月 31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰入金	2,907,549		
年会費(振込) 378件	756,000	交流費	0
年会費(現金) 17件	34,000	旅費交通費	0
本部補助金	30,000	会議費	19,011
預金利子	21	通信費	160,748
		事務費	19,143
		会報関連費	101,530
		印刷費	24,600
		事務局費	120,000
		HP関連費	153,000
		年会費振込手数料	8,140
収入計	820,021	支出計	606,172
		次期繰越金	3,121,398
合計	3,727,570	合計	3,727,570

[繰越金内訳]

前日本郵政 3,082,102  
現金 39,296  
合計 3,121,398

以上会計事項について監査の結果、適正に処理されているものと認めます。

2022年 1月11日

会計監査 14回生 洞田 雅子



★事務局住所変更のお知らせ

ページジンドーへの移行及び事務局メールの変更を決定。(新ホームページ・事務局メールとも)2022年2月より稼働)  
※昨年同様、コロナ禍の影響で事務局会議は2回のみ開催に。

つ、じヶ丘同窓会東京支部の事務局住所と電話番号が変更になりました。これまで14年間にわたって事務局を引き受けてくださった堀内洋子さん(14回生)には心から感謝とお礼を申し上げます。事務局新住所と電話番号は左記の通りです。

●住所 〒136-0071 東京都江東区亀戸9-10-1:1517

●電話 & FAX / 03-3638-3523

■哀悼 物故者のお知らせ

2021年8月～2022年3月末までに事務局へご連絡をいただいた逝去された会員です。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

松村テツ(高女31)、伊規須タカ子(高女32)、石垣涼子(高女34)、青柳節子(高女40)、佐藤洋子(高女40)、時田泰子(高女40)、坂井敏克(1)、平山真二(1)、松田守正(2)、小滝裕子(2)、梅津貢三郎(4)、大塚進(8)、浅野正好(8)、葛西捷行(11)、神崎悦子(23)

年会費納入のお礼とお願い

コロナ禍にもかかわらず、年会費納入のために郵便局へ足を運んでくださった会員の皆様は誠にありがとうございます。昨年とほぼ同数の395件の年会費納入数となっています。とはいえ、在籍者数約1500名に対して年会費納入者数は26%、4人に1人に過ぎません。コロナ禍以前は平均500件の納入数がありました。

同窓会活動では、会報の発行・発送、ホームページの運営、総会・懇親会の開催、他校同窓会との交流などを行なっており、その経費は皆様の年会費で賄われています。同窓生の皆様、今後ともどうぞ年会費の納入にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

《編集後記》

新型コロナの出口が見通せず、不安な日々が続いています。作家・森真沙子さんの「柳橋ものがたり」を読むと、幕末は戊辰戦争で世情不安、天然痘やコレラなどの疫病流行と何やら昨今と似通っています。それでも、人々は花見や落語などを楽しみながら生活を送っていて、庶民の逞しさと底力に反骨精神を感じるのには私だけでしょうか。

(井田幸子20回生)

皆さまの投稿(思い出、出来事、旅行など)をお待ちしています